

「栃木県特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会」でお話させていただきました
一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子

いつも栃木県手をつなぐ育成会を応援いただきありがとうございます。

去る5月24日に栃木県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会の総会が今市特別支援学校で開催され、その後の講演会に呼んでいただきました。お天気が良く、宇都宮から今市に向かう車窓から新緑の日光連山がはっきりと見えてとても美しく、栃木県民でよかったなあと思いました。

昨年度依頼を受けて、コロナ禍で開催されるか心配でしたが、対面は会場校だけであとは県内の特別支援学校の校長室と Zoom で繋ぐハイブリット開催でした。自宅から入られた保護者もいらしたようでした。コロナ禍で会議の持ち方も大きく変化していますね。事務局の皆さま、大変お世話になりました。

私の息子もあつと言う間に31歳になり、学校時代は、はるか昔のようなつい最近のことのような複雑な思いで話をはじめました。タイトルは「私の子育て・聖母でなくてごめんなさい」です。障害のある子のお母さんは神様から選ばれた人なのですよという「聖母の呪縛」は時に私を苦しめました。子育てや家事でクタクタなのに良いお母さんを演じていた時もありました。

「学校を卒業してからのほうが人生は、長いです」「多くの人たちとつながりましょう」などお子さんが在学中の親御さんに向けてエールを送りました。参加者の皆さんにホームページのことをお伝えしましたので今後も更新を頑張っていきます。

